

慶應義塾大学 2022年度 経済学部(2/13実施) 世界史

I

問1

(1) コーヒー、サトウキビ・藍などの商品作物を現地民による安価な労働賃金で強制的に栽培させ、植民地政庁が作物の買い上げ価格を一方的に定めて海外に販売したことで大きな利益を得た。(85字)

(2) 軍内の右派と左派の衝突であった九・三〇事件は結末として右派のスハルト体制への転換をもたらし、インドネシアは反共軍事同盟として発足したASEANに主導的な立場で加盟した。(80字)

(3) (a) ポルトガル (b) 東ティモール

問2 (ア) 2 (イ) 6 (ウ) 7(α) 8

問3 3→5→1→4→2

問4 (1) イギリスは議会の決定から体系的な課税ができる仕組みを持ち、さらには国債を扱うイングランド銀行を設立したことで財政革命と呼ばれる徴税や金融のシステムの発展を経験し、効率よく戦費を調達することができた。(99字)

(2) 3→1→2

(3) 第二次世界大戦後に日本支配から独立を宣言したベトナム民主共和国とその動きに対抗する形でフランスが植民地支配を再開するために作った傀儡政権であるベトナム国。(77字)

(4) 1、5

II

問5 (a) 1 (b) 7

問6 (ア) 9 (イ) 4

(2) 植民者に先住民の保護とキリスト教の教化を条件に土地と住民の支配権を委託した制度。(40字)

問7

(1)国内の旧教徒と新教徒の対立が貴族間の党派争いなどの政治的・社会的対立と結びついた内戦であるユグノー戦争が勃発していた。(59字)

(2)新教徒だったアンリ4世は国家の統一を守るためにカトリックに改宗し、新教徒に対してはナントの勅令を出してプロテスタントの信仰を認め宗教対立の解消を実現し、ユグノー戦争を終結させた。(89字)

問8 特権階級である聖職者、貴族に加え都市の商人や農民で構成された身分制議会である三部会で旧制度の矛盾から議会在紛糾すると、そこから分離した第三身分の議員たちはシェイエスの思想の影響で自らが国民の正当な代表であると主張するための名称を採用した。(119字)

Ⅲ

問9 (a)2 (b)3 (c)1

問10 (1)3→2→1 (2)a→2、b→3

問11 (a)9 (b)3 (c)4 (d)2

問12 (1)(a)2 (b)3

(2)エチオピアはかつてはイタリア軍にアドワの戦いで勝利し、独立を維持するも国際連盟の実行力のない経済制裁ではムッソリーニ率いるイタリア軍の2度目の侵攻は止められず独立を失った。(86字)

(3)デタントと呼ばれる東西冷戦の緊張緩和が始まった。西ドイツではブラントがソ連や東欧諸国との友好路線を推し進める東方外交を開始し、西ドイツ＝ポーランド国交正常化条約を結ぶなど全欧州の協力を呼びかける土台が出来上がっていた。(109字)